

簿記がわからなくても大丈夫
マンガでわかる！

決算書の ルール

ルールが
わかれば
読めますよ

読めた
ニャー！



はじめに

世の中には「決算書の読み方」に関する本やセミナーが溢れています。それは、決算書（主に貸借対照表や損益計算書）を読むことが重要だと考えている人がそれだけ多い証拠です。

たしかに、経営者や投資家など、会社業績を把握する仕事に関わる人にとって決算書を読む力が重要であることは間違いないありません。成功する経営者は総じて財務に強い関心があり、ユニクロやソフトバンクは毎日決算を組む日次決算を取り入れているくらいです。

しかし、決算書を正確に理解するためには複式簿記の知識が必要不可欠、だから難しい、けど大事…そこで何とか複式簿記を使わず、損益計算書と貸借対照表の仕組みを説明できないか？ という思いがこの小冊子の始まりです。

「複式簿記を使わずにマンガでわかりやすく決算書を理解できる小冊子をつくりましょう！ マンガは僕自身が描きます！」

つくり始めてすぐ、この軽率な提案を後悔しました。

税理士なので少し考えたらわかりそうなものですが、複式簿記を使わずに決算書を説明するのは想像以上に難しかったのです。

最終的にはネコがクッキー屋をオープンし、1期目を迎えるにあたってイヌの税理士に疑問をぶつけまくるという物語を通じて「決算書において重要な考え方は何なのか」をエッセンスに集中して解説することにしました。

税理士は経営者の方にわかりやすく決算書を解説するのを生業としています。ですからイヌの税理士は普段の私自身です。どんなに重要な決算書でも、読み解けなければそれはただの紙切れです。しかし、読み解くことができれば、それは経営や投資戦略における地図に変わります。

この小冊子がきっかけで「決算書って意外と面白いな」と思っていただければ幸いです。

1章

損益計算書を読もう！

3

マンガ
損益計算書から
税金を計算してみよう

4

(1) 会計のルールとは

8

コラム
決算書ってすごい！

9

マンガ
本業の儲けはらうらうら？

10

(2) 費用収益対応の原則とは

14

(3) 改めておさらい (さらに詳しく)

15

1 期末在庫とは？

15

コラム
魚屋で勉強しよう！

16

2 減価償却とは？

17

コラム
なぜ黒字倒産は起るのか？

18

2章

貸借対照表を読もう！

19

マンガ
貸借対照表は会社の家計簿

20

(1) 貸借対照表は

会社の財務状況を示している

24

(2) 改めておさらい (さらに詳しく)

25

コラム
経営はスキー

26

(3) 貸借対照表と損益計算書の関係

27

1 損益計算書は「適正な期間損益計算を
実現する」

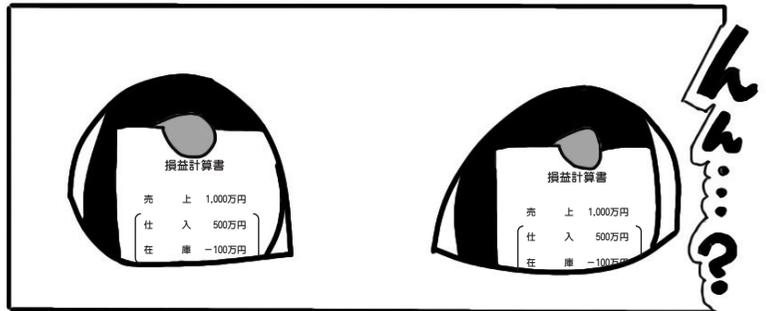
27

2 いろいろな業種の損益計算書と貸借対
照表を見て理解を深めよう

28

3 貸借対照表に登場するその他の科目

29



損益計算書によると
 今期は**500万円**の利益が
 出ていますよ！

損益計算書

| | |
|-------------|--------------|
| 売上 | 1,000万円 |
| 仕入 | 500万円 |
| 在庫 | -100万円 |
| 売上原価 | -400万円 |
| 売上総利益 | 600万円 |
| 減価償却 | -100万円 |
| 営業利益 | 500万円 |
| (法人税等) | 200万円 |



ほら、
こい

ニヤー!!

500万円も!!
 嬉しい!!
 頑張った甲斐があったあ!!



思えば
 1年前...

ぶるぶる...

この必死で
 貯めた100万円
 絶対一山当ててやる...



ATM

けどそれじゃあ
 全然足りなくて

色んな銀行に
 あたったつけ...

銀行

ムリー

ムリー

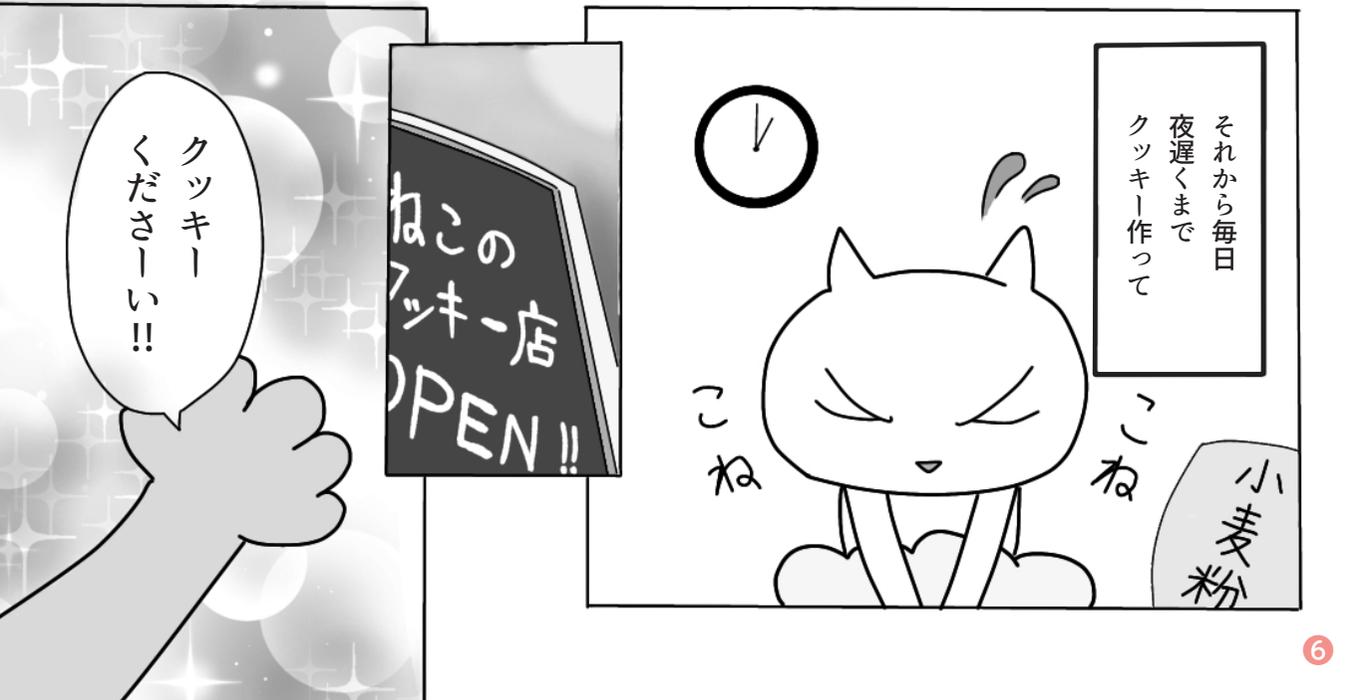
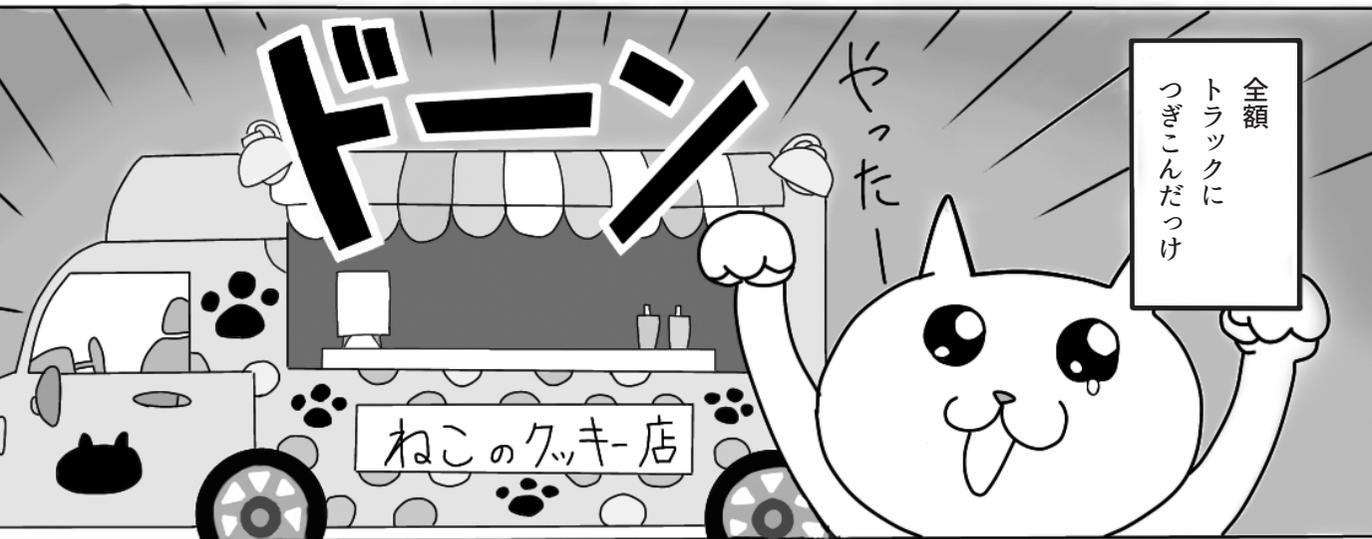
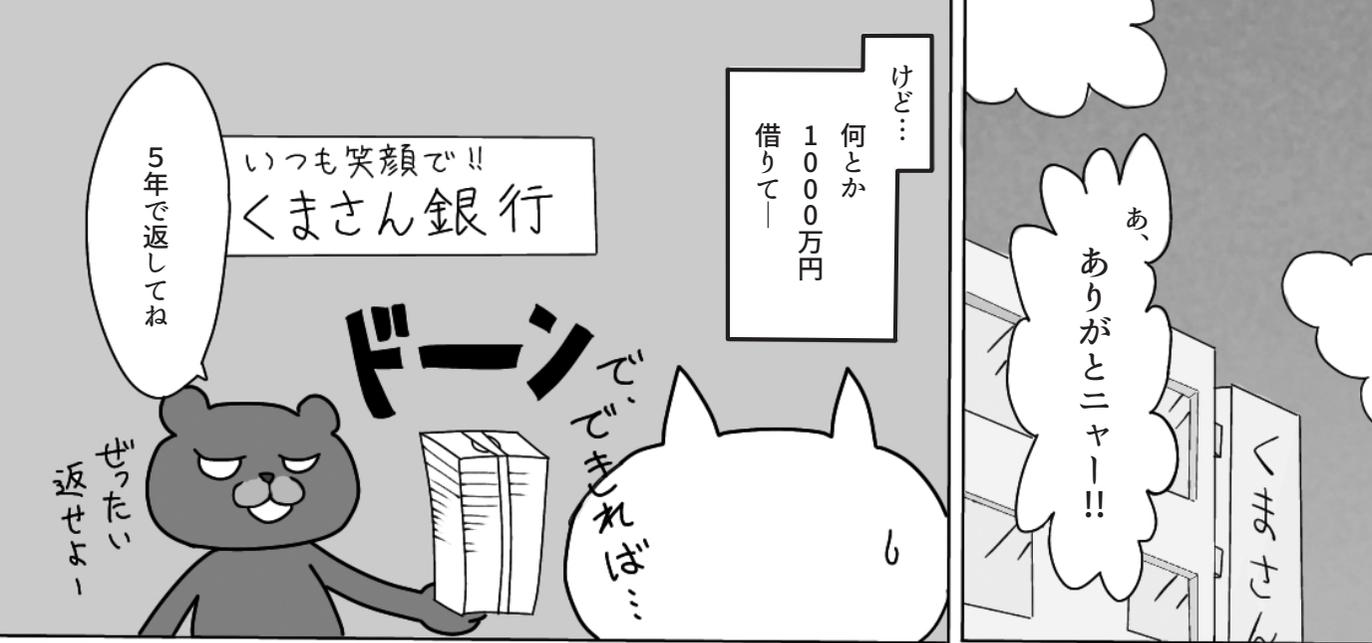
銀行

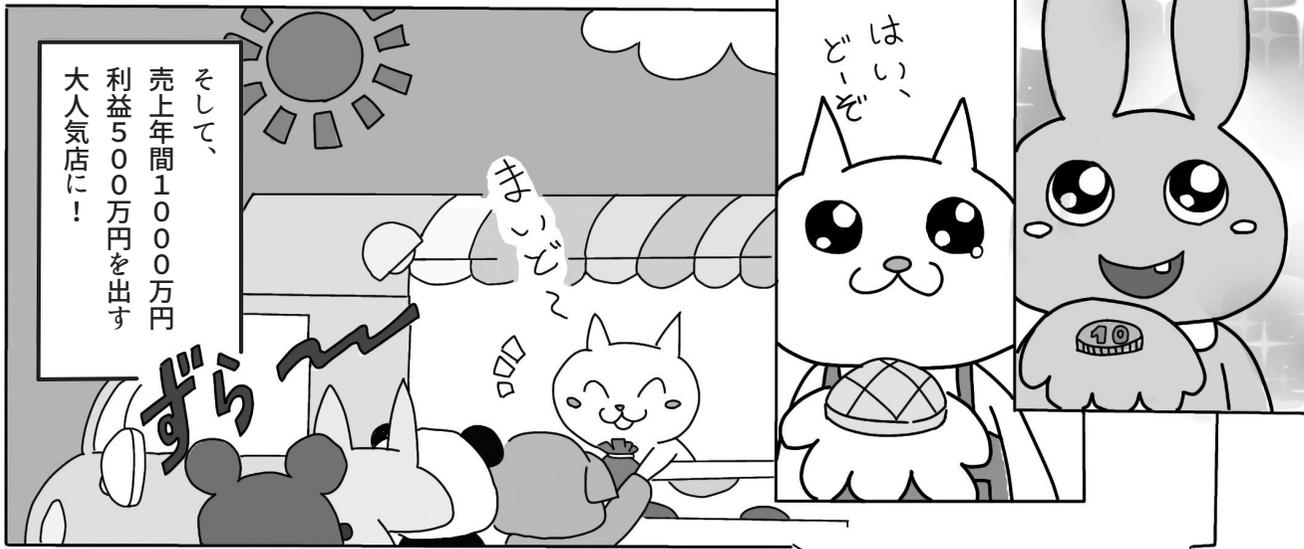
XX信金

ぜったい
 あきらめない

ニヤー!!







(1) 会計のルールとは



ネコさんは「黒字倒産」って聞いたことありますか？



開業したばかりなのに不吉なことというなよ…黒字なのに倒産するなんてありえないでしょう。



いやいや、実は世の中には黒字なのに倒産する企業はたくさんあるんですよ。



黒字だったからお金があるはずなのに倒産するなんておかしくない？



そこが会計の難しいところ、実は「利益が出ている」と「お金が残っている」とは違うんです。



どういふこと？



損益計算書は「今期（多くは1年間）にいくら儲かったかを示すもの」で「いくらお金が残っているかを示すもの」ではないのです。



黒字なのにお金がないこともあるってこと？



ねこさんも、利益ほどはお金が残っていないので「そんなに儲かってない」って違和感を感じたわけですよ。



確かに…



それには会計独特のルールがあるからなんです。その違和感の正体をみていきましょ。黒字倒産しないようにもね。



いや、だから不吉なことというなよ…

損益計算書（1年目）

| | |
|-----------|---------------------|
| 売上 | 1,000 |
| 仕入 | △500 |
| 期末在庫 | +100 |
| 減価償却 | △100（取得1,000・10年定額） |
| 利益 | 500 |

コラム 決算書ってすごい！

「そんなに利益出てないって」

納税の説明をする際、経営者からこのセリフを幾度となく聞いてきました。お金が残ってないのに利益だけ出て、それに対して税金がかかるのに納得がいかない気持ちは同じ経営者として痛いほどわかります。

決算書って難しいですよ。私も会計を始めたところ同じように感じました。

家計簿だと月30万円の現金入金があり、生活費などで25万円だから5万円余った。非常にシンプルでわかりやすいですよ。個人的にお金の管理をするのなら家計簿で十分かも知れません。別に間違ったところで誰に迷惑をかける訳でもありませんね。

しかし、企業の取引は個人に比べて非常に複雑です。ネコさんみたいに借入をし、材料を仕入れ、製品を売って利益を出し、納

税をする。その過程で銀行や取引先、税務署まで色々な人と関わります。間違っていたら、下手すると犯罪です。

決算書は「一定の期間でいくら利益が出たのか」や「どのように資金調達し、どのように運用されているのか」を的確に表せるように考えつくされていて、誰もがそれを信じ、お金を貸したり、納税の根拠になったりします。それってすごくないですか？

また、決算書は誰かの為の「外部資料」としても大事ですが、自分自身の「内部資料」としても大切です。己を知れば百戦あやうからずといわれるように、自らの経営のことを的確に示した資料をしっかりと活用すべきです。

そんな大事な決算書の「読まず嫌い」を無くしたい方は、つづきをどうぞ。